

被災者生活支援センター

25年度の被災者生活支援センターも3年目を迎え、これからの長い復興・新たな段階に進む支援の在り方とその支援システムを再構築するために、スキルアップ研修会や生活支援員を構成員とする業務標準化委員会での検討を行っています。

同じ南三陸町民だからこそ、住民の「思い」や「気持ち」を支えたい！



(震災) 当時の職員の活動を記録に残したい・伝えたいと冊子 (A4/4頁) を刊行しました。お近くの公共機関 (役場・診療所・図書館等) でご覧ください。

▲▼富士通株式会社 (企業支援) : 生活支援員スキルアップ研修



普段、相談ごとを「聴く」立場の民生委員さんと生活支援員さん。そんな彼ら彼女らに熊澤先生はじっくり向き合う。語りを通じて想いを聞いてもらいました。

熊やんの愛ことば
 ・「聴く」が「効く」
 ・困ったときは「まあ、ええか」
 ・みんな一緒に「ポチポチいこか」
 一生懸命取り組んでいるからこそ心に響きました。

再会さろん (登米市)

5月26日の過日、日曜日ということもあ、大勢の南三陸町民が集い、旧交を温めました。南三陸町の様子を映像で流しながら、昼食を挟み、懐かしい顔ぶれにいつまでも話が尽きません。



♪お知らせ♪
 南三陸町再会さろんinエル・ソーラ28F (仙台市)
 7月28日 11時~14時
 問合せ先: 被災者生活支援センター TEL0226-46-1216



ちょこっと運動

運動不足になりがちな仮設住民が思いっきり身体を動かせるようにと、昨年2月から始まった『ちょこっと運動』。歌津サテライトセンター発祥で、瞬く間に各サテライトセンターに広まりました。すでに住民主体の仮設団地もあります。

滞在型・巡回型の生活支援員は民生委員、保健師、臨床心理士等の関係機関と定期的な情報交換をして、住民の安心安全を支えています。また、生活支援員も後方に専門職がいることで、最前線で活動できるのです。

